



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレートコミュニケーション担当（氏名） 野口 直記（TEL）03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 2022年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	159,876	21.9	13,390	57.2	14,614	75.9	28,091	—	31,108	547.8	74,839	—
2022年3月期第1四半期	131,196	△2.0	8,518	△65.0	8,306	△64.3	807	△94.8	4,802	△73.7	△6,752	—

（参考） 税引前四半期利益 2023年3月期第1四半期 46,610百万円 2022年3月期第1四半期 7,957百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 78.30	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	円 銭 12.09	円 銭 —

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	1,422,933	744,414	673,010	47.3	1,693.99
2022年3月期	1,308,007	673,569	607,888	46.5	1,530.08

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	14.00	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△1.8	30,000	△48.7	24,000	△60.2	22,000	△61.0	55.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1四半期	397,900,154株	2022年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2023年3月期1四半期	607,445株	2022年3月期	607,238株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1四半期	397,292,798株	2022年3月期1四半期	397,293,647株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・連結子会社である Myovant Sciences Ltd. (以下「マイオバント社」) はニューヨーク証券取引所に上場しており、当社グループはマイオバント社の発行済株式の約52%を保有しています。「オルゴビクス」(レルゴリクス)、「マイフェンブリー」/「ライエクオ」(レルゴリクス配合剤)はマイオバント社の製品です。本資料にはマイオバント社に関する情報が含まれていますが、これらは同社による開示済の情報に基づいています。マイオバント社に関する詳細については、<https://www.myovant.com>をご覧ください。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。
- ・当社は、2022年7月29日(金)に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	1,312	1,599	287	21.9
コア営業利益	85	134	49	57.2
営業利益	83	146	63	75.9
税引前四半期利益	80	466	387	485.8
四半期利益	8	281	273	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	48	311	263	547.8

※ 四半期利益の増減率(%)は、1,000%以上となるため、記載しておりません。

■ 売上収益は1,599億円（前年同四半期比21.9%増）となりました。

日本セグメントは、薬価改定の影響等により減収となりましたが、北米、中国、海外その他の各セグメントは、為替換算の影響による増収や、一時金収入の計上により増収となりました。

■ コア営業利益は134億円（前年同四半期比57.2%増）となりました。

販売費及び一般管理費や研究開発費についても、為替換算の影響等により増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、コア営業利益は増益となりました。

■ 営業利益は146億円（前年同四半期比75.9%増）となりました。

条件付対価の公正価値の変動額などの非経常項目に大きな増減はなく、コア営業利益と同様に増益となりました。

■ 税引前四半期利益は466億円（前年同四半期比485.8%増）となりました。

営業利益の増益に加え、当四半期末の円安による為替差益の計上により、金融収益から金融費用を差し引いた金融損益が大幅な増益となったことから、税引前四半期利益は大きく増加しました。

■ 四半期利益は281億円（前年同四半期比—%）となりました。

税引前四半期利益が増益となったことにより、四半期利益についても増益となりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は311億円（前年同四半期比547.8%増）となりました。

四半期利益の増益の影響が大きく、非支配持分に帰属する損失を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益も増益となりました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は19.5%となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

<日本>

■ 売上収益は337億円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

非定型抗精神病薬「ラツーダ」の売上は伸長しましたが、薬価改定の影響等により、減収となりました。

■ コアセグメント利益は16億円（前年同四半期比76.5%減）となりました。

減収による売上総利益の減少等により、減益となりました。

<北米>

■ 売上収益は952億円（前年同四半期比33.3%増）となりました。

「ラツーダ」に加え、進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」等の Sumitovant Biopharma Ltd.（以下「スミトバント社」）製品の売上伸長や、「オルゴビクス」の欧州における販売に関する独占的なライセンス契約の対価として受領した契約一時金を収益認識したことなどにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は231億円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

売上総利益の増加が、スミトバント社グループの費用の増加や為替換算による販売費及び一般管理費の増加を上回り、増益となりました。

<中国>

■ 売上収益は116億円（前年同四半期比36.4%増）となりました。

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上増加の影響が大きく、増収となりました。

■ コアセグメント利益は53億円（前年同四半期比24.8%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

<海外その他>

■ 売上収益は84億円（前年同四半期比206.0%増）となりました。

選択的オレキシン2受容体作動薬（DSP-0187）の日本、中国および一部のアジアを除く全世界における開発・販売に関する独占的なライセンス契約の対価として受領した契約一時金を収益認識した影響が大きく、増収となりました。

■ コアセグメント利益は68億円（前年同四半期比989.7%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は110億円（前年同四半期比11.5%増）、コアセグメント利益は10億円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、為替換算の影響により、のれんや無形資産が増加したことから、前連結会計年度末に比べ574億円増加しました。

流動資産は、その他の金融資産は減少しましたが、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権が増加した結果、前連結会計年度末に比べ576億円増加しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,149億円増加し、1兆4,229億円となりました。

負債については、引当金や営業債務及びその他の債務が増加した結果、前連結会計年度末に比べ441億円増加し、6,785億円となりました。なお、社債及び借入金は合計で2,689億円となり、前連結会計年度末に比べ1億円減少しました。

親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金が増加したことに加え、その他の資本の構成要素が増加した結果、前連結会計年度末に比べ651億円増加し、6,730億円となりました。また、非支配持分は、前連結会計年度末に比べ57億円増加しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ708億円増加し、7,444億円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は47.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益が増加したことや法人税等の支払額が減少したことなどにより、前年同四半期に比べ460億円収入が増加し、132億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の減少などにより、224億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、66億円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物に係る換算差額を加えた結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,554億円となり、前連結会計年度末に比べ525億円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2022年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	131,196	159,876
売上原価	38,476	46,056
売上総利益	92,720	113,820
販売費及び一般管理費	62,061	77,289
研究開発費	22,429	24,422
その他の収益	354	2,788
その他の費用	278	283
営業利益	8,306	14,614
金融収益	611	32,879
金融費用	960	883
税引前四半期利益	7,957	46,610
法人所得税	7,150	18,519
四半期利益	807	28,091
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	4,802	31,108
非支配持分	△3,995	△3,017
四半期利益	807	28,091
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	12.09	78.30

【要約四半期連結包括利益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	807	28,091
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△6,643	△2,283
確定給付負債（資産）の純額の再測定	△22	—
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△886	48,903
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△8	128
その他の包括利益合計	△7,559	46,748
四半期包括利益合計	△6,752	74,839
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	△2,668	70,322
非支配持分	△4,084	4,517
四半期包括利益合計	△6,752	74,839

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	64,091	61,889
のれん	195,144	217,830
無形資産	398,692	436,552
その他の金融資産	115,844	114,350
未収法人所得税	5,538	6,182
その他の非流動資産	6,527	6,410
繰延税金資産	22,650	22,629
非流動資産合計	808,486	865,842
流動資産		
棚卸資産	99,021	110,114
営業債権及びその他の債権	151,407	168,664
その他の金融資産	35,596	10,147
未収法人所得税	93	157
その他の流動資産	10,420	12,566
現金及び現金同等物	202,984	255,443
流動資産合計	499,521	557,091
資産合計	1,308,007	1,422,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	243,963	244,004
その他の金融負債	16,471	16,200
退職給付に係る負債	11,461	11,545
その他の非流動負債	57,620	56,314
繰延税金負債	26,550	29,734
非流動負債合計	356,065	357,797
流動負債		
借入金	25,085	24,908
営業債務及びその他の債務	46,183	58,721
その他の金融負債	13,302	9,727
未払法人所得税	7,583	17,305
引当金	119,149	142,860
その他の流動負債	67,071	67,201
流動負債合計	278,373	320,722
負債合計	634,438	678,519
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	16,725	17,087
自己株式	△681	△681
利益剰余金	514,210	539,085
その他の資本の構成要素	55,234	95,119
親会社の所有者に帰属する持分合計	607,888	673,010
非支配持分	65,681	71,404
資本合計	673,569	744,414
負債及び資本合計	1,308,007	1,422,933

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2021年4月1日残高	22,400	15,855	△679	508,677	38,575	—
四半期利益	—	—	—	4,802	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,643	△22
四半期包括利益合計	—	—	—	4,802	△6,643	△22
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,563	—	—
非支配持分との取引	—	1,703	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	2,059	△2,081	22
所有者との取引額等合計	—	1,703	△0	△3,504	△2,081	22
2021年6月30日残高	22,400	17,558	△679	509,975	29,851	—
2022年4月1日残高	22,400	16,725	△681	514,210	23,838	—
四半期利益	—	—	—	31,108	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,283	—
四半期包括利益合計	—	—	—	31,108	△2,283	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,562	—	—
非支配持分との取引	—	362	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△671	671	—
所有者との取引額等合計	—	362	△0	△6,233	671	—
2022年6月30日残高	22,400	17,087	△681	539,085	22,226	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ				
2021年4月1日残高	△4,331	73	34,317	580,570	67,608	648,178
四半期利益	—	—	—	4,802	△3,995	807
その他の包括利益	△797	△8	△7,470	△7,470	△89	△7,559
四半期包括利益合計	△797	△8	△7,470	△2,668	△4,084	△6,752
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△5,563	—	△5,563
非支配持分との取引	—	—	—	1,703	1,128	2,831
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△2,059	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2,059	△3,860	1,128	△2,732
2021年6月30日残高	△5,128	65	24,788	574,042	64,652	638,694

2022年4月1日残高	31,273	123	55,234	607,888	65,681	673,569
四半期利益	—	—	—	31,108	△3,017	28,091
その他の包括利益	41,369	128	39,214	39,214	7,534	46,748
四半期包括利益合計	41,369	128	39,214	70,322	4,517	74,839
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△5,562	—	△5,562
非支配持分との取引	—	—	—	362	1,206	1,568
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	671	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	671	△5,200	1,206	△3,994
2022年6月30日残高	72,642	251	95,119	673,010	71,404	744,414

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	807	28,091
減価償却費及び償却費	8,271	11,518
条件付対価公正価値の変動額	88	78
受取利息及び配当金	△605	△837
支払利息	732	747
法人所得税	7,150	18,519
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△19,091	△6,139
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,928	1,957
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△202	4,839
前受収益の増減額 (△は減少)	7,720	△3,369
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	△1,940	△3,248
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	101	16
引当金の増減額 (△は減少)	△1,990	9,388
その他	△7,509	△41,034
小計	△9,396	20,526
利息の受取額	40	243
配当金の受取額	563	579
利息の支払額	△177	△216
法人所得税の支払額	△23,835	△7,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,805	13,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,569	△2,352
有形固定資産の売却による収入	126	181
無形資産の取得による支出	△1,386	△1,607
投資の取得による支出	△10,227	△2,506
投資の売却及び償還による収入	3,991	584
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	27,678	27,241
その他	△925	908
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,688	22,449
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△740	△740
リース負債の返済による支出	△1,168	△1,130
配当金の支払額	△5,491	△5,488
その他	495	714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,904	△6,644
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,021	28,994
現金及び現金同等物の期首残高	193,698	202,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	△759	23,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	170,918	255,443

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

① 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	38,650	71,392	8,529	2,740	121,311	9,885	131,196
セグメント間の内部売上 収益	19	—	—	—	19	9	28
合計	38,669	71,392	8,529	2,740	121,330	9,894	131,224
セグメント利益 (コアセグメント利益)	6,733	18,145	4,257	623	29,758	1,003	30,761

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

② 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	33,678	95,155	11,633	8,384	148,850	11,026	159,876
セグメント間の内部売上 収益	19	—	—	—	19	14	33
合計	33,697	95,155	11,633	8,384	148,869	11,040	159,909
セグメント利益 (コアセグメント利益)	1,581	23,082	5,313	6,789	36,765	1,011	37,776

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメント計	121,330	148,869
「その他」の区分の売上収益	9,894	11,040
セグメント間取引消去	△28	△33
要約四半期連結財務諸表の売上収益	131,196	159,876

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメント計	29,758	36,765
「その他」の区分の利益	1,003	1,011
セグメント間取引消去	9	12
研究開発費(注)	△22,429	△24,422
事業譲渡益等	164	—
その他	13	24
コア営業利益	8,518	13,390
条件付対価公正価値の変動額	△88	△78
その他の収益	177	2,764
その他の費用	△278	△283
その他	△23	△1,179
要約四半期連結財務諸表の営業利益	8,306	14,614

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。